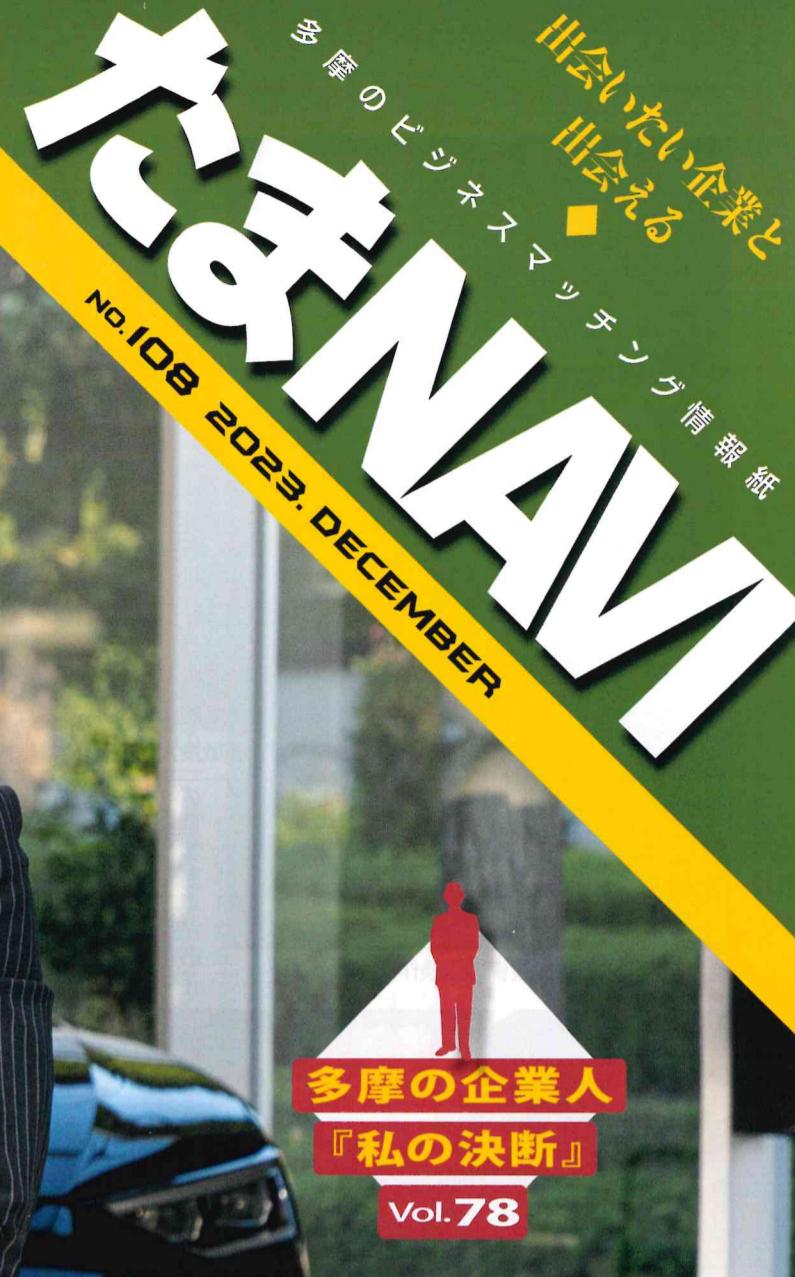


# 自動車産業の 流通革命を目指す



株式会社ビジョナリング

代表取締役社長

わしおじゅんじ

鷺尾潤二氏

1978年神奈川県横浜市生まれ。中学時代からボクシングに打ち込むも網膜のケガで断念。高校を中退し国産車販売店を経て輸入車販売店に入社。2004年ハンユウ株式会社を設立し輸入車正規ディーラー事業開始。11年ビジョナリング設立。他にビジョナトレーディング株式会社、株式会社HRリンク（人材紹介業）、株式会社ウエストオートサービス（板金業）を経営。22年、5社を統括するビジョナグループを設立し代表兼CEOに就任。趣味は読書、プラモデル。

小平市大沼町3-13-9 TEL: 042-348-7007

<https://www.visionagroup.jp/>

電動化、自動化の波にさらされ、自動車業界は今、大変革期を迎えている。こうした中、「自動車産業に流通革命を起こす」と壮大なビジョンを掲げる経営者がいる。「ベストベンチャーカー100」に12年連続で選出されたビジョナリングの鷺尾潤二社長だ。

「お客さまが本当に求めている車を最も把握しているのは、お客さまと直にコミュニケーションを取っている小売企業の私たちです。私たちがもっと力をつけて発言力を持ってば装備、価格等でお客さま視点の車が開発されるようになり、自動車業界全体の活性化につながると信じています」と鷺尾社長は力強く語る。

## 人間力重視のセールスで躍進

高校を中退し、派遣で工場勤めをしたものの、将来の希望を見出せず、公共職業安定所で日産自動車のセールスの仕事を見つけた。応募条件が大卒以上だったが、直談判で面接にこぎつけ、「必ず売ります。石にかじりついてでも売ります」と訴えて採用される。最初は全く売れなかつたが、営業成績の高い先輩に同行させてもらったり、関連する本を読みあさつたりして営業ノウハウを学び、「期日までに絶対に売る」という強い意思で朝から晩まで猛烈と働いた。

その後、フォード販売店に転職し、21歳でジャガー正規ディーラーの店長に抜擢される。休みなしで働き、「一人で年間120台を売り上げた。なぜ、それほど売れたのか。

「商品の売り込みではなく、お客さまを知ろうとする努力から始めました。そしてお客さまとの信頼関係を築くことに注力し、『じゃあ、お前から買うよ』と言っていただけの営業を目指したのです」。

2004年、26歳のとき起業のチャンスが訪れる。ジャガーのディーラーを経営する会社が破たんし、そのエリアで新規に法人を設立してディーラーをやらないかという話がきたのだ。そこで、ハンユウ株式会社（現ビジョナリー）



多摩ニュータウン通り沿いにオープンした「アウディ八王子」。「Q4 e-tronを一度ご試乗ください。EVに対する考え方方が変わる事だと思います」と鷺尾社長は話す

店舗運営を支えるカスタマーサービス

自動車産業に流通革命を起こすには事業をさらに拡大する必要がある。鷺尾社長は新たな自動車ビジネスの創出に向けて自動車の共同使用マーケットの開拓や再建型M&Aなどを推し進める。そのため欠かせないのが若手人財の育成だ。社内外の研修に加え、社員には経営に関する全ての情報を開示し、経営者志向の人財育成に力を入れている。

壮大なビジョンを実現するには、正にこれからが正念場だ。

その後、シトロエン、ロータス、ランドローバー等のディーラー権を取得。攻めの経営を推し進め、事業を拡大してきた。そして11年、念願だったアудイのディーラー権を取得してビジョナリングを設立した。小平市の新青梅街道沿いに「アудイ西東京」を開設。その後、「同立川」「同日野バイパス」（旧アудイ八王子）と多摩地域に次々出店。23年10月には八王子市堀之内に「アウディ八王子」をオープンした。ここは全国初のカーボンニュートラル店舗。屋根の上に設置した太陽光パネルで発電してショールームの照明や工場の動力を使い、余った電気を蓄電池に溜め、150kWhの急速充電を可能にしている。

その後、シトロエン、ロータス、ランドローバー等のディーラー権を取得。攻めの経営を推し進め、事業を拡大してきた。そして11年、念願だったアудイのディーラー権を取得してビジョナリングを設立した。小平市の新青梅街道沿いに「アудイ西東京」を開設。その後、「同立川」「同日野バイパス」（旧アудイ八王子）と多摩地域に次々出店。23年10月には八王子市堀之内に「アウディ八王子」をオープンした。ここは全国初のカーボンニュートラル店舗。屋根の上に設置した太陽光パネルで発電してショールームの照明や工場の動力を使い、余った電気を蓄電池に溜め、150kWhの急速充電を可能にしている。

## 国分寺市企業特集

国分寺市の企業を紹介します。

# 24時間365日対応の在宅診療所を立川に開設予定 泌尿器科の外来診療所を立川に開設予定

エフエムティ

舛田一樹理事長（国分寺市、359・4197）は在宅療養支援診察所「さつきクリニック」を運営している。定期的に医師が訪問診療し、容態が悪化した場合は24時間3日対応する。



泌尿器科専門医としても活躍する舛田理事長

他、自宅や施設で輸血する「在宅輸血」や尿を排出させるためのチューブ「尿カテーテル」交換も訪問して行っている。

1、2週間に1回輸血が必要な血液疾患者からは「病院への頻回の通院や長時間待つ必要がなくなり、家族の負担も減ってうれしい」と好評だ。また、在宅輸血に関しては対応できるクリニックが少なく限られているため、病院からの問い合わせや依頼も増えている。

2023年9月には「さつき訪問看護ステーション」を開設した。日常生活でトイレが少なくて軟性膀胱鏡や尿流量測定器など最新設備を備え、泌尿器科専門医である舛田理事長が診療に当たる。泌尿器系のがんのスクリーニング検査だけではなく、高齢化に伴う排尿トラブルなどに対応する。特に排尿に関しては、23年5月現在、全国で270人程しかいない排尿機能専門医の資格をもつ舛田理事長得意とするところだ。

「専門的、総合的な知識と人材を持ち、より安全に、患者に寄り添った医療を行なう。大学病院などの大きな病院ではなくとも、クリニックや在宅医療でできることがあります」と舛田理事長は語る。



「さつきクリニック」を支える医師・スタッフたち

# 不要なパソコンを無料で回収・廃棄 地域密着で片付けニーズに迅速対応

澄プランニング（国分

寺市、河角安泰社長、042・313・7927）はパソコンの回収をはじめ、遺品整理や福祉施設の利用者の転居に伴う掃除、生前整理など、家財に関する回収・廃棄業

ドバイスクのデータ消去および破壊まで行い、破壊証明書も発行する。出張回収はもちろん、デスクトップやノートパソコン、オフィス移転時などは電話機や机・椅子などの残置物の撤去や回収も併せて対応可能だ。

一方、15年頃から手掛ける「遺品整理」では河角社長自ら遺品整理士の資格を取得。専門的な知識をもとに故人の想いや家族の意向に配慮しながら、「遠方に住んでいて頻繁に片付けに通えない」「家族だけでは人員が足りない」「故人の思い出の詰まった遺品を丁寧に整理したい」といった要望にきめ細かに対応する。

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に、地域密着で貢献できるよう、スタッフ一同力を合わせて対応していくます」と話す。



「地域の皆さまの支えのおかげで継続できています」と河角社長

ここ数年でパソコン回収に注力できる人員体制も整えた。受注も増え、現在では全体の売上の3割を占めるほどに成長した。

一方、15年頃から手掛ける「遺品整理」では河角社長自ら遺品整理士の資格を取得。専門的な知識をもと

に故人の想いや家族の意向に配慮しながら、「遠方に住んでいて頻繁に片付けに通えない」「家族だけでは人員が足りない」「故人の思い出の詰まった遺品を丁寧に整理したい」といった要望にきめ細かに対応する。

「地元・国分寺市を中心に今後は近隣市の方々に、地域密着で貢献できるよう、スタッフ一同力を合わせて対応していくます」と話す。

## 2世帯住宅のリフォーム実績多数 設備交換から構造躯体変更まで幅広く対応

アイホーム

人見毅社長、042・320・3201は多摩エリアを中心とした地域密着のリフォーム会社。1990年に設立し、30年以上の実績がある。

内装、左官、大工等の職人を抱え、風呂やトイレ等の設備交換はもちろん、構造躯体から変更できるのが強みだ。「木造軸組工法」や「2×4工法」等の建物には、工法に合わせた技術を駆使して大規模リフォームを実現する。ハウスメーカーが独自技術で造る「クローズド工法」にはリフォームできない物件も含まれ、知見が必要だ。81年には「建築基準法」が大幅に改訂され、建物自体の耐震性が高まるなど、リフォームも注目されるようになった。

「新築が主流だった90年代からリフォームに特化してきた。蓄積したノウハウをお客さまに還元したい」と人見社長は話す。

間仕切りをガラス戸に変えて広々とした空間に

フォーム一筋に30年以上の実績を持つ人見社長

「間仕切りをガラス戸に変えて広々とした空間に」と人見社長は話す。

「間仕切りをガラス戸に変えて広々とした空間に」と人見社長は話す。

## キャンピングカーで新しい旅の体験

Bush Camp

正貴社長、042・320・4220はキャンピングカーを利用した宿泊体験サービスを提供する。社名にある「Bush」未開の地」が表すように、本来であれば滞在できないような

財に併設する「甲斐ワインリー」や同じく勝沼のワイン村にある「東夢ワインリー」、京都府与謝郡の酒蔵「与謝娘酒造」の敷地内など、宿泊だからこそ実現できる「お酒をゆっくり楽しむ旅」を演出する。

多摩地域では温泉施設の「檜原温泉センター数馬の湯」(西多摩郡檜原村)や「もえぎの湯」(西多摩郡奥多摩町)の駐車場をはじめ、桜光協会直営山林や「さかな園」(日の出町)などと提携。アッパーに加わる予定だ。

今後は全国のカーレンターや就寝定員5人)が1日2万5000円から用意。高級クラスの「メルセデスマルコポーロ(乗車定員7人、就寝定員5人)」がラインアップに加わる予定だ。

今後は全国のカーレンターラー事業者と提携し、「Camp Site」を拡大していく計画だ。一方、国分寺市をはじめ多摩地域の企業との連携も進めていく予定で、法人向けのワーケーションプランなどを検討している。



バス通り沿いにある本社。水色のロゴマークが目を引く。



「新しい旅の体験をこれからも提案していきたい」と豊岡社長

「新しい旅の体験をこれからも提案していきたい」と豊岡社長